

令和４年度第２回大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会 議事要旨

１ 日 時：令和４年８月１７日（水）午後２時～午後３時３０分

２ 場 所：大阪市立科学館 １階 多目的室

３ 出席者：

【委 員】伊藤委員、栗原委員、村田委員

【大阪市】経済戦略局松岡文化部長、平野博物館支援担当課長、稲垣博物館支援担当課長代理 他

（１） 令和３年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する本市評価について（小項目及び中項目）

（２） 令和３年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する総評

（３） 大・中項目評価に関する指標について

５ 議事要旨

（１） 令和３年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する本市評価について

- ・本市から資料１～４（１）に基づき説明を行った。その後、質疑・審議を行い、前回の評価から変動がある項目及び前回の委員会において疑義があった項目について、評価委員から意見の申述をいただいた。

〔主な意見〕

- ・評価について概ね市評価案のとおりで疑義はない。
- ・コロナ禍の影響により、博物館・美術館のファンが離れて行かないよう、学芸員の解説動画やWEBを使った対話型美術鑑賞といった手法等、幅を広げて実施いただきたい。

（２） 令和３年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構の業績評価に対する総評

- ・本市から資料４（２）に基づき説明。小項目・中項目評価を俯瞰したうえで、一定の評価を行い、令和３年度評価としては、科学館の企画展が全国展開したことや、各館の枠を超えた連携ができたことについて評価しているが、機構の取り組みが外部へ広く伝わっていないため、より戦略的な広報を展開する必要があるとしている。

〔主な意見〕

- ・一方向だけの情報発信だけでなく、各館と市民・来館者との対話を意識した双方向の広報に取り組んでいただきたい。
- ・今後の取り組みについて、博物館活動は一過性のものではないため、「大阪・関西万博を契機と捉えて」や「第２期中期目標に向け」といった表現にしてはどうか。

（３） 大・中項目評価に関する指標について

- ・本市から資料５、６に基づき説明。令和５年度に実施するみなし評価（中期目標の期間の最後の事業年度直前の事業年度にかかる事業評価）にあたり、大項目及び中項目にかかる評価指標案について、評価委員から意見の申述をいただいた。

〔主な意見〕

- ・評価にかかる方向性としては問題ない。
- ・大項目評価と中項目評価の間で、指標や手法で齟齬が出ることが想定され、そのような

状況となった場合の考え方を整理しておく必要がある。

- ・評価について、デジタル化をするとその数字に評価が引っ張られることになるため、別の評価軸があってもいいのでは。
- ・学識者によるワークショップの際、各館の学芸員等と対話する場を設け、中の声と外の声が議論できる場面があるとより有効な評価につながるのではないかな。

6 会議資料

資料 1 業務実績にかかる小項目評価 修正箇所抜粋版

資料 2 業務実績にかかる小項目評価一覧表（案）

資料 3 令和 3 事業年度にかかる業務の実績に関する評価結果小項目評価案

資料 4 達成度評価シート（案）

資料 5 大・中項目評価に関する指標について

資料 6 大・中項目評価に関する指標（案）

参考資料 1 評価委員会指摘事項に関する追加回答